

## 福井県産のイノデ属について

渡辺定路

イノデ類は雑種等をつくり、無性的に繁殖するので非常に難解なグループであるが、本県のイノデ類も大体解明されたので、ここに発表します。

### 検 索 表

- A. 中軸が鞭状にのびて先端に芽を出す。
- B. 胞子嚢群は葉脈に頂生し、羽片の中肋の両側に1例に並び、包膜は大きくて宿存性……ツルデンド
- A. 中軸は鞭状にのびず、また芽も出さない。
- B. 葉身は単羽状複生、最下小羽片だけがのびて、さらに羽状に分裂する……ジユウモンジシダ
- B. 葉身は2回羽状深裂から2回羽状複生、最下小羽片だけが特に大きくなることはない。
- C. 葉身は硬い革質で上面に光沢があり、鋸歯の先きは堅いとげ状
- D. 葉軸鱗片は毛状で、胞子嚢群は一般に葉面下部からつく……キヨズミシダ
- D. 葉軸鱗片は線状披針形で胞子嚢群は葉面上部からつく……オオキヨズミシダ
- C. 葉身は草質またはやや革質で、辺縁の鋸歯はとげ状にならない。
- D. 下部の羽片は短くなる。
- E. 小羽片は鈍頭、辺縁に浅い鋸歯がある……ホソイノデ
- E. 小羽片は鋭頭、辺縁に深い鋸歯がある……カラクサイノデ
- E. 葉の中軸の鱗片は卵形または卵状披針形で下向している……シロウマイノデ
- D. 下部の羽片はわずかに短くなるか、全く短くならない
- E. 葉柄下部の鱗片には、黒色～黒褐色で光沢があり質の硬いものがある。
- F. 胞子嚢は辺縁に近くつき、葉面に光沢はない……サイゴクイノデ
- E. 葉柄下部に黒色の鱗片がない。
- F. 葉の中軸下部の鱗片は広卵形、先端は急に狭長となる。
- G. 中軸の鱗片は下向する……サカゲイノデ
- G. 中軸の鱗片は上向する……ツヤナシイノデ
- F. 中軸下部の鱗片は披針形から毛状
- G. 胞子嚢群は辺縁と中肋の中間につく
- H. 葉柄下部の鱗片は卵状披針形、辺縁に毛状の突起があり、中軸下部の鱗片は

披針形……イノデ

H 葉柄下部の鱗片は線状披針形で中央部が濃褐色のものが多く、ほとんど全縁  
中軸下部の鱗片は狭披針形……アイアスカイノデ

H 葉柄下部の鱗片は披針形で 1.5 mm より広く、ほとんど全縁、濃褐色の鱗片が  
まじる。

I 葉身は草質で多少黄色を帯びる……ホクリクイノデ

I 葉身はやや硬質で濃緑色

J 下部羽片の孢子囊群は大体羽片または小羽片の先端から基部に向って生  
じる……ドウリヨウイノデ

G 孢子囊群は著しく中肋よりに生じる。

H 葉軸鱗片は大きく辺縁に毛状の突起があり不規則に立っている。濃褐色の鱗  
片はない……フナコシイノデ

G 孢子囊群は辺縁よりで葉柄基部には黒褐色の鱗片があり、鱗片の描縁にはけな  
けだしく不齊な歯芽がある……イノデモドキ

G 葉柄下部の鱗片には濃褐色の鱗片がある。中軸の鱗片は卵状披針形で上向し、  
辺縁の突起はアイアスカイノデ様である……タカオイノデ

G 葉柄下部の濃褐色鱗片はしばしば全く生ぜず、中軸の鱗片はやや小さく卵形で  
下向し、辺縁はイノデモドキ様にきわめて密に裂れる……ナメライノデ

1. *Polystichum craspedasorum* DIELS ツルゲンダ

常緑性で一般的に石灰岩地帯に生育し、イワゲンダに似ているが、中軸が鞭状にのびて先端  
に芽を出す。北海道から九州まで広く分布し、朝鮮、満州、中国に分布している。本県では和  
泉村白馬洞、大野市上打波

2. *P. tripteron* PR. ジュウモンジシダ

夏緑性で最下羽片がのびて、さらに羽状に分裂して十字形をしている。またスギの植林の指  
標植物である。北海道から九州の山地、南千島、朝鮮、中国から東シベリアに分布

3. *P. tsus-simense* J.S.M キヨズミシダ(ヒメカナワラビ)

常緑性、長さ 40 ~ 60 cm、葉身と葉柄はほぼ同長、葉柄基部の鱗片は三角状披針形から広  
披針形で褐色、長さ 1 cm に達し、辺縁に毛状の突起がある。常陸、佐渡、越後以西の本州、四  
国、九州、中国、台湾に分布

本県での産地、吉田郡吉野岳、足羽郡一乗滝、敦賀市谷口、大飯郡大飯町、三方町前川谷、

小浜市田島

3-a var. *mayebarai* KURATA オオキヨズミシダ

中軸の鱗片は幅が広い。胞子囊群は一般に葉面上部からつく。房総、武蔵、越後以西の本州、四国、九州、中国に分布、本県での産地、南条郡河野村赤萩、河野村大谷

4. P. *braunii* FÉE ホソイノデ

夏緑性、通常30～60 cm、葉身の下部は著しく狭くなる。小羽片は鈍頭～円頭、胞子囊群は中肋よりにつく。長門笠山、伯耆大山、中部以北の本州、北海道、北半球の亜寒帯に広く分布、本県での産地、三の峯

5. P. *microchlamys* MATSUM. カラクサイノデ

夏緑性、小羽片は鋭頭で深い鋸歯がある。鋸歯や裂片の先きはのげ状にのびる。伯耆大山、大和大峯山、中部以北の本州、北海道、千島、カムチャツカに分布  
本県での産地、三の峯、冠山

6. P. *X shin-tasiroi* KURATA シロウマイノデ

カラクサイノデとサカゲイノデ or イワシロイノデの雑種、外部形態は両種の間である。  
陸奥、羽前、下野、越後、信濃、越前に見出される。  
本県での産地、三の峯、本県のものはサカゲイノデとの雑種である。

7. P. *Pseudo-makinoi* TAGAWA サイゴクイノデ

葉柄下部の鱗片の中央部は黒褐色、胞子囊群は著しく辺縁よりである。  
上総、武蔵、加賀以西の本州、四国、九州、中国に分布  
本県での産地、坂井郡竹田村、勝山市

8. P. *retroso-paleaceum* TAGAWA サイゴクイノデ

中軸の鱗片は広卵形、軸に平着して下向きにつく。胞子囊群は中間性  
北海道から本州に広く分布、四国の深山にまれに産する。  
本県では各地に広く分布している。

9. P. *ovato-paleaceum* KURATA ツヤナシイノデ

中軸鱗片は広卵形、軸に平着して上向きにつく、サカゲイノデより南または低地に生育している。

磐城以西の本州、四国、九州に分布、本県での産地・武生市鬼ヶ岳、敦賀市池河内、岩籠国有林

10. P. *polyblepharum* PR. イノデ

葉柄基部につく大きな鱗片は披針形〜広披針形、辺縁には不規則な齒芽状の突起がある。上部のものほどしだいに細くなり、中軸上部の鱗片は毛状に近い。

羽後、常陸以西の本州、四国、九州の平地から低山地に生育している。

本県では平地に多く見られる。

11. *P. longifrons* KURATA アイアスカイノデ

葉柄基部につく大きな鱗片は狭披針形で全縁に近く、中央部は濃褐色、中軸の鱗片はイノデより細い。

磐城、羽前以西、伯耆、播磨までの本州、九州（豊後、肥後）

本県での産地・吉田郡志比村近庄峠、坂井郡三国町、金津町、武生市大虫町、千合谷町、三方郡三方町

12. *P. x hokurikuense* KURATA ホクリクイノデ

アイアスカイノデとサカゲイノデの雑種、外部形態は両種の特徴を有する。

羽前、北陸、下総、駿河、三河、伊勢、近江、因幡

本県での産地・丹生郡朝日町、坂井郡竹田村、細呂木、敦賀市池河内

13. *P. x anceps* KURATA ドウリヨウイノデ

イノデとアイアスカイノデの雑種、葉柄下部の鱗片はイノデより細く辺縁の齒芽状突起も少ない。

越後、相模、駿河、三河、山城、河内、摂津

本県での産地・坂井郡金津町柿原、敦賀市池河内、坂井郡三国町三国神社

14. *P. x inadae* KURATA フナコシイノデ

イノデとサカゲイノデまたはツヤナシイノデとの雑種、葉柄鱗片はイノデより幅広く辺縁には不規則な齒芽状の突起がある。1米以上にもな大形の羊歯である。

羽前、北陸、伊豆、播磨、伊予、肥後

本県での産地・武生市大虫町、三俣町、鯉江市三里山、大飯郡1ツ谷国有林

15. *P. tagawanum* KURATA イノデモドキ

葉身は狭披針形で、先は急に細くなって尾状にのびる。鱗片の辺縁にははなはだしく不齊な齒芽がある。

佐渡、下野、上総以西の本州、四国、九州

本県での産地・今立郡冠山、武生市日野山、岡本山、矢良巢岳、敦賀市岩籠国有林、南条郡木の芽峠、三方郡美浜町新庄、大飯郡1ツ谷国有林



16. P. x takansanense KURATA タカオイノデ

アイアスカイノデとツヤナシイノデの雑種、葉柄基部には栗色鱗片が常在し、葉軸の鱗片は卵状披針形で上向している。

武蔵、駿河、三河、伊勢、近江、越前

本県での産地・武生市大虫の滝、岡本山

17. P. x okanum KURATA ナメライノデ

葉軸鱗片は小さく卵形で、しばしば下向し、辺縁にはきわめて密に裂けてイノデモドキ様である。

イノキモドキとサカゲイノデの雑種である。

佐渡、上総以西の本州、四国に分布

本県での産地・大飯郡 1ツ谷国有林

倉田 悟 : 日本のイノデ類について ( 1964 )

大井 次三郎 : 日本羊歯植物誌

田川 基二 : 厚色日本羊歯植物図鑑